平成２９年度　第１回小郡市総合教育会議　会議録

１．日時

平成２９年７月２５日（火）午後２時００分開会　午後３時５０分閉会

２．場所

小郡市役所西別館３階会議室

３．出席者

市　　長	加　地　良　光
教　育　長	清　武　　　輝
教育委員	林　　　ヒデヨ
教育委員	山　田　英　昭
教育委員	村　橋　理　恵
教育委員	柏　木　和　治

４．欠席者

なし

５．会議に出席した事務局職員

（市長部局２名）

企画課長	熊　丸　直　樹
企画課企画政策係長	天　野　正　治

（教育委員会事務局９名）

教育部長	山　下　博　文
教務課長	髙　田　博　治
人権・同和教育課人権・同和教育係長	野　田　文　子
生涯学習課長	有　馬　義　明
スポーツ振興課長	藤　吉　　　宏
文化財課長	柏　原　孝　俊
学校給食課長	中　村　律　子
図書・文化課長	新　木　秀　典
教務課教務係長	白　石　和　章

６．協議・調整事項及び議事の内容

市長により議事進行

（１）小郡市教育大綱　重点目標に関する施策の取組について

① 学校教育について

教育部長　説明

・重点目標１　 幼児教育の充実

・重点目標２　小・中学校教育の充実

現在の状況、平成２９年度の取組み、平成３０年度以降の取組みについて

意見・質問等

（委員）地域と共通理解を図る学校運営協議会を全小･中学校に設置することに大賛成ですが、小規模校の特色化については、地域とも協議しながら地道な取組みが必要ではないかと思います。

（委員）学校運営協議会の設立時は、時間的な負担もあり、地域の方からは元からあるつながりでは駄目なのかといったような意見があった。

　その後、学校運営協議会の意義が浸透していき、防災をテーマに学校運営協議会で取り組んだところ、とても良い結果が生まれたと思っています。

　今後、学校運営協議会を新たに設置されるところは、学校から課題等のテーマを決めていただいた方が円滑に進んでいくのではないかと思います。

（市長）学校と地域とを考えた時に、学校は地域の方に協力してくださいとお願いされるが、学校の先生は地域にどれだけ出て行ってあるか。一方通行的な様に思えます。

　先生もお忙しいですが、上手くいっているところは、先生も地域の行事に参加していて、先生の顔が見えてくると、あの先生の為なら、地域も協力しようというようなお互い良い関係が出来るのではないでしょうか。

（委員）確かに地域の目で見たときに、お互いに貢献することが当然ではないかいう意見がございます。

　学校が地域貢献を考えた時に、先生の勤務先の学校がある地域への貢献と先生の居住地の地域への貢献の両面が必要ですが、取組みの継続性を考えると居住されている先生を中心に取組まないといけないのかなと思います。

（委員）地域の方に学校に来てもらうだけでは無く、学校が地域に出て行ったり、学校の施設を地域に開放したりして、地域の教育力向上に結び付きながら、学校の

存在意義を地域へ示していくことを考えていかないといけない。

（市長）地域の方の中には、学校を助けたいと思っている方がおられると思いますので、学校運営協議会を通して、そういった方々に協力いただけると、先生方の負担も軽減されるのではないかと思います。そういった面でも学校運営協議会の位置づけは今後、大切になっていくと改めて思いました。

（委員）以前から地域行事に中学生や中学校の先生が出てこないと聞いていたが、中学校の部活を担当している先生は、ほとんど休みがないのではないかと思います。

先生達の多忙化が問題となっており教育委員会の中でも話をしていますが、環境改善を考えないと、現状のままでは地域行事の参加も難しいと思います。

（委員）学校の教員が多忙化していて、土日も学校に出てきているという状況で、ワーク・ライフ・バランスに向けて負担軽減を図りながら、持続可能な地域との連携を考えていかなければならないと思います。

（委員）部活動では、これまでも専門的な知識がある外部の指導者にも一部で来ていただいたりもしています。

（委員）先生方が地域に出て行って、学校にとって地域に出て行くことの良さを実感されることが、まず必要なのかなと思います。

時間が無くて難しいとは思いますが、様々な課題を抱えている子どもがいる中で、地域の祭り等で子ども達の学校で見せない良い姿を見ることで、子どもを見る幅が出て、その後の学級経営に生かせる実感をして頂けると良いのではないかと思います。

学校と地域との関係は一方的ではいけないので、自発的にそのような良さを先生方が実感できるようにする必要があるのではないでしょうか。

（市長）地域にとっては、地域の課題を積極的に捉えて解決していく人材が必要で、子ども達が地域の接点となる祭りや行事に参加することで、そういうことを自然と身に付けて、先生方がそういった意味付けをよく理解してもらえると子ども達に深く入っていくのではないでしょうか。学校も地域の意見をよく理解してもらうと学校運営協議会の取組みも意味のある会になるのではないでしょうか。

（委員）学校が地域を変える役割を担うという考え方があります。地域の中で学校がどのような役割を担うのかということは大きな課題です。そのためにも、学校と地域と

の定期的な接点が保障される学校運営協議会を設置することはやはり大事だと思います。

（市長）小規模校の問題については、もう時間が無いのではないかと思います。

可能性について考える論議は、いち早く進めるべきではないでしょうか。

地域はこれまで小規模校対策を待っていたが何も変わらずに、少ない入学者に対して、地域は廃校の危機感を持っています。

地域の課題として、地域の方に参加いただくことによって良い面が出るのではないでしょうか。

（委員）学校運営協議会の中で、地域の要望や学校の実情を踏まえた中で、すぐに結論を出すのではなく小規模校の特色作りについて、丁寧に地道に話をしていく必要があるのではないでしょうか。

（委員）小規模校の特色化については、それぞれ英語に特化した学校や体育に特化した学校にするなど、教科で特化した特色を付けると良いのではないかと思います。

（委員）小学校で市内全域から通学できるとなった場合、安全面や防犯面を考えると交通手段の心配が出てくると思います。

（市長）平成30年度以降、教育委員会の中で、小規模校の小・中連携について、地域の意見もいただきながら、あらゆる可能性について課題も含め研究を進めていただきたいと思います。

（市長）その他、ご意見等はございますか。

（委員）中学生を対象とした英語検定の補助制度を検討することとしていますが、市長の英語教育に対する想いをお聞かせいただければと思います。

（市長）英語については、英語を通して何を学ぶかが大事だと思います。英語を使って討論したり、自分の故郷を紹介するような使える英語でないと意味がないのではないかと思います。

学校の英語も会話中心に役立つ形に変わってきていて、良い方向に向かっていると思っていますし、英語検定については英語が通用する実力の基準ですので、良いのではないかと思います。

ただ、心配しているのは新しい学習指導要領の中で小学校の先生方が自信を持って英語を教えることが出来るのかということが課題ではないでしょうか。

先生が英語を教える意味をしっかりと持っていないと、単に試験の為の勉強となってしまうと本当の意味での英語教育とは違うのかなと思います。

是非、学校の先生も含めて子ども達にグローバル化時代の中で英語を学ぶ意義をおさえていただきたいと思います。

そうすると子ども達も自然にインターネット等を活用しながら、自ら生きた英語を学んでいくのでないかなと思います。

② 社会教育について

教育部長 説明

・重点目標３　青少年教育の充実
・重点目標４　人権・同和教育の充実
・重点目標５　生涯学習の充実
・重点目標６　図書館活動の充実
・重点目標７　文化活動の充実
・重点目標８　文化財の保護活用の充実
・重点目標９　スポーツ・レクリエーションの充実

現在の状況、平成２９年度の取組み、平成３０年度以降の取組みについて

意見・質問等

（委員）油屋付近で行われているイベントについては、それぞれで行われているので、集約して同時に行うと集客効果が大きくなると思います。

（委員）新たな体育館建設についてですが、様々な公式の大会が開催出来るようなものを造れば、高速道路のインターチェンジもあるので小郡市に人を集めることが出来て良いのではないでしょうか。

（市長）久留米市には県立の体育館があり、地域間のバランスや施設の維持管理費の問題など長期的な視点に立って、様々な観点を聴いて総合的に考えていきたいと思います。

（市長）その他、ご意見等はございますか。

（委員）図書館の司書の方が専門的な知識が豊富で、嘱託職員ということで驚いたことがある。1年間で辞められるということで、勿体ないなと思うことがありました。

（委員）図書館の司書などの専門的な職種では嘱託職員が市の職員と一緒に業務を行っています。市の職員は異動で別の部署に行ってしまうが、嘱託職員には業務の知識やノウハウが積みあがっていきます。嘱託職員がある程度継続的に力を発揮出来る体制づくりと併せて、市の職員も専門家を育成するように人材育成を行っていく必要があると考えています。

（委員）移動図書館車の巡回については、とても良い取組みだと思っています。

移動図書館車を駐車する場所に自治公民館も加えると、もっと利用者が増えて良くなるのではないかと思います。

（委員）小郡市立図書館の現在の取組みは、大変素晴らしいと思っています。

蔵書の内容にも満足していますし、読書ボランティアグループの連携についても取り組まれており、様々な形で充実していると思っていますので、今後も継続をお願いしたいと思います。

（委員）小郡市歴史文化基本構想策定事業について、市の文化財への一般の方の関心も盛り上がってきていると感じていますが、具体的な予定があれば教えてください。

（委員）具体的には、まだ決まっていませんが、小郡市全体が博物館であるというような発想があり、市内の貴重な文化財を大事に保存・活用し、地方創生や観光面も考えながら「歴史のまち小郡」を市外にも発信し、取り組んで行きたい。

（委員）文化財に関する広報の工夫がもっと必要なのではないでしょうか。

（２）その他

意見・質問等

（委員）以前は学校で色覚検査が行われていたが、現在は行われておらず、先を見通した子どもの進路選択の為に事前に色覚検査を行う必要があるのではないでしょうか。

（委員）文部科学省の通知等により、現在は学校で色覚検査を行っていませんが、保健だより等により、色覚異常に関する情報や必要に応じて眼科医に相談いただくよう保護者にお知らせしているところです。

また、今後も色覚異常に関する周知の充実等に努めて行きたいと考えております。

（委員）学校運営協議会の取組みについては、地域の方も助かると思いますので、是非広げて欲しいと思います。

（委員）保幼小接続期カリキュラムについて、是非、多くの関係者に広げて欲しいと思います。是非、小学校の先生に幼稚園の取組みを見て欲しいです。

７．その他

意見・質問等　なし

小郡市総合教育会議設置要綱第７条第２項の規定により署名する。

平成２９年　　月　　日

市　　長

教　育　長